

# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

越前市武生第一中学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

地域代表（4名）

- ・東地区自治振興会
- ・吉野地区自治振興会
- ・西地区自治振興会
- ・おおむし地区振興会

保護者代表（2名）

- ・PTA会長
- ・PTA副会長

学校代表（4名）

- ・校長
- ・教頭
- ・教務主任
- ・生徒指導主事

地域コーディネーター4名

公民館運営委員、自治振興会青少年育成部長  
体育協会の副理事長、自治振興会の副会長

### (2) 協議会の内容

※開催回数 3回

※開催日程 6 / 26

12 / 19

2 / 27

※協議内容

- ・本年度のスクールプランについて
- ・福井型コミュニティ・スクールについて
- ・学校公開について
- ・学校評価について
- ・令和2年度の予定について

### (3) 協議会における成果と課題

地域と中学校の関わりに関して、来年度以降の地域行事への参加に関しての指針となるアドバイスをいただくことができた。

学校の現状に関して、委員の方にご理解をいただけたが、あまり深い話し合いはできなかった。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域で行われている行事や地区の公民館の行事に、主体的に参加することで、生徒の地域行事に参加する意識を高めるとともに、保護者の理解や地域コーディネーターの支援を受けながら、地域の状況に応じた活動の運営に関わることで、地域への愛着を高め、地域貢献への意欲を育むことをねらいとしている。

### (2) 活動の実際

#### ①西地区の「西っ子合宿通学」への協力

9月に行われた西公民館主催の「西っ子合宿通学」に協力し、西地区自治振興会の方と共に参加者の小学校1～3年生の児童の世話をを行った。小学生と一緒に、夕食のためのご飯を飯ごうで炊いたり、カレーのトッピングの買い出しをしたりした。空いている時間には、子ども達と話し合いながら、公園などで楽しく遊んだ。夕食後は、銭湯に行き、風呂上がりの小学生の着替えの世話をを行った。

#### ②吉野地区の「ふるさとの集い」への参加

9月に行われた吉野地区のふるさとの集いの手伝いを行った。今年度は前日の会場設営の手伝いにも参加し、椅子や展示用のパネルなどの設置を大人に混じって行った。

当日の午前の敬老会では、バスで集まってくるお年寄りの迎え入れや玄関での靴を脱ぐ手伝



いなどの仕事を行った。迎え入れたお年寄り一人ひとりにみんなで作成した地区のPRが書かれたうちわを手渡した。午後は、文化祭の受付やステージ発表の手伝いを行った。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

地域の会議に、中学校の生徒の意見を伝えていただき、活躍の場を確保し、活動計画を各地区で調整してもらった。当日は、生徒の動きを見ながら、支援や活動の状況を把握してもらった。地域と進める体験推進事業の意義や目的なども地域の会議などで伝えていただき、活動の理解を得ることができた。その後、地区公民館の広報誌などへの活動内容の掲載も推進していただき、地域へ活動内容を広めることができた。

### (4) 特に工夫した事項

一昨年は中学生だけでゲームコーナーを運営していたが、行事に参加した小学生などとの交流が中心になり、地域の大人の方との交流がほとんどなかった。そこで昨年度より、地域行事のスタッフの一員として活動できるように、中学生だけで活動するのではなく、地域の方の中に混じって活動できるようにした。今年度もそれを踏襲し、地域の大人の方の方と直接話をしながら行事に参加できた。

### (5) 成果と課題

地域コーディネーターの方が4人とも昨年度と同じ方だったため、打ち合わせの時間が短くてすんだ。地域コーディネーターの方が各地区の状況をしっかり把握しており、調整にも大きな力を発揮してくれたため、生徒たちは、各地区において、運営面でも活躍し、来年の参加を要請された。地域の人たちに喜んでいただく活動をするには、生徒の地域への帰属感を高めることに有効であった。地区の行事に参加することで、その他の行事への参加する生徒が増えた。

課題としては、地区によって生徒の参加数や意欲に差がある。また、地区の行事が中体連の大会前であり、意欲があっても部活動の都合で参加ができない生徒もいた。生徒が参加しやすい時期や活動について、地域コーディネーターの方とともに考えていかなければならないと感じる。